



(「ザイトク」とは民族差別暴力を得意がる在特会など卑劣ファシストの総称。「ヘイト」勢力のこと)
この7月、反ザイトク運動が大阪でバージョンアップ! 2014年6/21発行

★7/1: 辛淑玉さん、武委員長、戸田による「排外主義と闘う! シンポ」

★7/25: 門真市が前田朗先生を招いて反ヘイトの全部署職員研修!

★7/26: 門真市文化会館で前田朗先生を招いて反ヘイトの市民講演会!

★7/1(火)夕、「排外主義と闘う! シンポ」

☆辛淑玉 (しんすご): 「のりこえねっと」代表

☆武 建一 : 連帯労組関西生コン支部委員長

☆戸田ひさよし: 門真市議

協同会館アソシエ5周年
 記念式典第1部

◎参加費無料! 誰でも参加
 できます! 申し込み不要!

◎日 時: 7/1(火) 夜午後5:00開始~6:30終了 (終了後は記念式典・レセプション)

◎会 場: 協同会館アソシエ: 大阪市東淀川区淡路3丁目6番31号 (地図掲載できなくてゴメン!)

電話 06-6328-2800 FAX 06-6328-4701

※新大阪駅もしくは阪急淡路駅から徒歩15分程。タクシーで600円くらい。

◎会場規模: 140人 「西淡路小学校の新幹線高架の向かい」と言って乗って下さい。

★: 日本最強の階級的左翼労組=連帯ユニオン関生(かんなま)支部が、ついに「のりこえねっと」(ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク)支援・反ヘイト闘争に本腰を入れる事になる!

★: 「反ザイトクの最強市議=戸田」と「のりこえねっと」との連携共闘開始の狼煙が上がった!(6月中旬から戸田と「反ヘイトの最強国会議員」=民主党有田議員との連携も始まっています!)

◇辛淑玉さん・武委員長・戸田の3者シンポがタダで聞けて、終わったら記念レセプションで飲食もできる!(こちら無料) こんなお得な企画はめったにないよ!

★7/26(土) 2時~5時 門真市役所ウラの文化会館ホールにて 「ザイトクに公共施設を使わせない論理と倫理 ~7/26前田朗先生講演集会 在門真」

※ 事前申し込み認証制です! 参加希望者は必ず戸田まで、「氏名(+所属)、電話番号、住所(連絡先)を通知し、戸田の認証を受ける必要があります。(団体代表者集約も可)

☆反ヘイト最高峰の研究者・行動家の前田朗(あきら)氏(東京造形大学教授・法学者・国際的活動多数、在日朝鮮人人権セミナー事務局長等)がついに門真市に来たる!

7/25(金)に門真市職員を200人超規模で研修し、7/26(土)はザイトクの横行を憂う市民・活動家・自治体議員・行政マンを対象に講演と質疑応答を行ないます! この絶好の機会をお見逃しなく!

◎日 時: 7/26(土) 2時開始~5時終了 (開場・受付開始1:45~)

◎会 場: 門真市立文化会館1階ホール(100人規模)

住所: 門真市中町2-3(門真市役所本館ウラ手)(地図掲載できなくてゴメン!)

電話: 06-6901-3300

京阪電車の古川橋駅からも門真市駅からも徒歩6分

◎資料代: 500円 (※講演会終了後、20人以内規模で居酒屋で懇親会もします。費用実費)

◆お手伝い募集! 短時間での会場飾り付け、100人分のイス机並べや受付等。戸田まで連絡下さい!

大阪府門真(かどま)市議: 戸田ひさよし 「革命21」所属。議会では「無所属」

連帯ユニオン近畿地本顧問・連帯ユニオン議員ネット代表

事務所: 大阪府門真市新橋町12-18 三松マンション207 TEL: 06-6907-7727 FAX: 06-6907-7730

アドレス: toda-iimu1@hige-toda.com HP: <http://www.hige-toda.com/>

サイトク川東に揺さぶられた門真市を戸田が鍛え直し、6月議会の追求質問で反省総括させ、より前進させた！

【6月議会：戸田の追求質問と答弁】 【5/2門真市教委見解】

【6/16 文教常任委員会】（重要部分の一部のみ抜粋紹介）

戸田：「反サイトク先進施策」を2月の公開研修で誇った門真市が、4月にサイトク川東主催でルミエールホールでの「5/11 サイトクによる朝鮮人差別宣伝集会」の使用許可を出してしまい、スッタモンダして、やっと5/2に使用許可を取り消したという、実にみっともない、かつ在日コリアンや門真市民の尊厳を傷つけてしまうという事件があった。

許可取り消しの過程を経て、「雨降って地固まる」となって一安心出来たが、この経過は痛苦的な反省の姿勢で検証し、今後役に立てていかなければならない。そういう観点から質問を行なう。

戸田：こういう事は、門真市と門真市民の名誉や「住民の尊厳」を著しく傷つけるものではないか？

教委：公表された内容は人の尊厳が損なわれるものであり、このようなことが行われてはいけなかったからこそ、許可の取消しに向けて、指定管理者などと調整を図るに至りました。

教委：市民の人権を守る立場として、市民の安全と尊厳を守ることは行政の責務であると認識しております。

教委：このような内容の申請が実際にあった場合の想定が十分であったとは言いがたく、この点につきましては検討が不足していたことを反省しております。今後は、状況に応じて一度保留し、十分な検討を行うよう取扱いを見直しております。

戸田：ヘイトスピーチ・ヘイトクライム勢力と公共施設運営の関係で7/25に全部署の職員を対象にした「職員研修」が企画された、と聞くと、これはどういうものか？

教委：7月25日午後、定員120人の門真市保健福祉センター多目的ホールにおいて2回にわたり、ヘイトスピーチに関する基礎知識や自治体として留意すべきことなどを習得することを目的として、人権女性政策課が企画し人事課が主催するもので、施設の管理運営を日常的に行っている職員やこの問題に関係の深い部局の職員を主な対象者としながら、全職員を対象に、テーマを「ヘイトスピーチにどう向き合うか～国内現行法と人種差別撤廃条約から考える～」とし、講師は、ヘイトスピーチ問題に詳しい東京造形大学の前田朗教授に依頼していると聞いております。

【6/19 本会議一般質問】（重要部分の一部のみ抜粋紹介）

<項目1：市の反サイトク先進施策を貶めた法務役人の責任について>

戸田：事件当初から私は、許可取り消しの理論的説得や戦術提起、状況分析、対策協議などを行っており、こんなおぞましい集会はすぐに許可取り消されるものと思っていた。しかし10日間経ってもそうならないため、法務監察課長、課長補佐、森本総務部長らに面談調査したところ、@憲法の表現言論の自由のため、公共施設での集会の自由を保障しないとイケない。@だからサイトクの集会であっても禁止する事が来ない。・・・というようなとんでもない考えを持って庁内で対応していた事が分かった。・・・

総務部長：新しい知見、市民目線に立った認識、行政手続の実務、過去の議会答弁の蓄積等に対する考察・研究不足から市の方針等も含め大所から行政責務を果たすための法律論などさまざまな角度の助言に至らなかったことを謝罪し、今後は見識を広めるべく努めて参りたい。

戸田：「住民の安全と尊厳を守る事行政責務」という理念が門真市の人権施策の土台である事を、改めて明言せよ。

総務部長：「市民の安全と尊厳を守ることは行政の責務」ということが、本市の人権施策の理念であり、市の見解と理解しております。

「門真市教育委員会の考え方について」 2014年5/2(金)

本市教育委員会としましては、門真市民文化会館が多く市民に利用される施設であるため、

本利用許可に反対の立場をとる者の妨害行為等により、他の利用者の安全確保が図れないことを危惧するとともに、

いかなる団体であれ、人権、民族、門地など人が生まれながらにして持ち、自ら選択する余地のない点や国籍などの属性を捉まえての差別行為は許されないという姿勢に立ち、

多くの子どもたちも利用する文化・教育の拠点である施設として、

受け入れるべきではないという考え方があります。

本施設の指定管理者にも、市民目線に立った総合的な判断のもと、教育委員会の考え方と軌を一にした対応を求めます。

~~~~~  
解説すると、

★優れているのは、「市教委は『差別を許さないという立場に立って物事を考える』という事を明記している点だ。この文章構文を考えた人は偉い！

★さらに、「(ルミエールは)多くの子どもたちも利用する文化・教育の拠点である施設だから、その点からも受け入れるべきではない」、という事も加えている。

★その上に、「教委は指定管理者に対して、『市民目線に立った総合的な判断』のもとで教育委員会と軌を一にした対応を求める」、と締めくくっている。

これも「今後の実効性」をよく考えられた文章である。

◆つまり、「門真市民がおぞましさを感じたり危険性を感じたりするような、サイトクの差別宣伝狙いの企画は、その表向きの名称がどうであれ許可しない」、という事をこれは「示唆」しているのだ。  
なかなか見事な言い回しではないか！

こういった優れた見解が作り上げられた背景には、今回の騒動を通じて「サイトクの門真市への攻勢が今後も手を替え品を替え、いろんな屁理屈を使って起こり得る」という「現実的な危機感」を市教委・市長部局が強く持つようになったからだ。

「サイトクが寄り集まる門真市になっていいのか?!」、という戸田の訴えに当局者が真剣に耳を傾けるようになったのだろう。